

# 令和6年度介護ロボット・ICT導入支援事業補助金 について

## 令和5年度との主な違い

今年度は例年とは異なる財源・実施要綱（国の令和5年度補正予算「介護サービス事業者の生産性向上や協働化を通じた職場環境改善事業」の介護テクノロジー定着支援事業）で実施するため

**(1) 補助率・補助上限額**

**(2) 対象機器・経費**

**(3) 補助要件**

が例年とは一部異なります

## 補助金の概要

介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化を目的とした介護ロボット・ICTの導入経費を補助するもの

**補助対象者** 県内に介護サービス事業所を有する法人

## 補助対象事業

- (1) 介護ロボット等の導入
- (2) ICT等の導入
- (3) 介護テクノロジーのパッケージ型導入  
(旧：見守り機器の導入に伴う通信環境整備)

## 補助率・補助上限額

### 令和5年度との違い

- 補助率 **今年度のみ**  
例年：2分の1（条件を満たせば4分の3）  
↓  
今年度：4分の3
- 補助上限額 来年度以降も  
通信環境整備のほか、複数の介護ロボット・ICTを導入する場合  
従来：750万円／事業所（1回限り）  
↓  
今後：1,000万円／事業所（業務改善計画が異なれば再度補助を受けられる）

## (1) 介護ロボット等の導入

令和5年度との違い 今年度のみ

- 「その他」が追加され、介護ロボットに該当しない機器でも補助を受けられる可能性あり

### 対象機器

#### ①介護ロボット

- ・移乗介助 ・移動支援 ・排泄支援 ・見守り・コミュニケーション
- ・入浴支援 ・介護業務支援

#### ②その他 (詳細は次のスライド)

## (1) 介護ロボット等の導入

### ②その他

①に該当せず、介護従事者の身体的負担の軽減や、間接業務時間の削減等につながる業務の効率化など、介護従事者が継続して就労するための環境整備として有効であり、介護サービスの質の向上につながると県が判断した機器

例：床走行式リフト、特殊浴槽、一括で調理支援を行う機器、加熱・冷蔵機能等を備えた配膳車、バイタル情報等をもとに職員へ通知を行うシステム

※該当するかは、申請内容も踏まえて個別に判断します。

## (1) 介護ロボット等の導入

### 補助上限額

移乗介助、入浴支援、その他

100万円／台



移動支援、排泄支援、見守り、  
コミュニケーション、介護業務支援

30万円／台



## (2) ICT等の導入

### 対象

- ・介護ソフトの導入、改修 ・介護記録用のタブレット端末の導入
- ・通信環境機器等 ・保守経費等 ・バックオフィス業務用ソフトの導入

※バックオフィス業務用ソフトは、既に介護ソフトにより記録から請求まで一気通貫になっている（又は今回補助を受けて実現する）場合のみ補助対象

### 補助上限額

事業所の職員数が	1～10名	100万円
	11～20名	160万円
	21～30名	200万円
	31名以上	260万円

※ 1事業所 1回限り（補助上限額に達していない場合、残額の範囲内で補助を受けることは可）

## (2) ICT等の導入

### 令和5年度との違い

- ICTの対象経費 来年度以降も  
「介護ソフト等」にケアプランデータ連携システムの利用料  
(年間21,000円) も含まれる (1事業所1回限り)
- ICTの対象経費 来年度以降も  
ケアプランデータ連携システムの対象事業所 (居宅介護支援事業所と居宅サービス事業所) が介護ソフトを導入する場合、ケアプラン連携標準仕様に準拠した介護ソフトである必要
- ICTの対象経費 来年度以降の取扱いは確認中  
介護ソフトで複数年の使用権契約のものは、従来は全額が対象だったが、1年分 (契約年数を按分) のみが対象

## (3) 介護テクノロジーのパッケージ型導入 対象

### ① 介護テクノロジーのパッケージ型による導入

介護ロボット・ICTを、2種類以上組み合わせて導入する場合

※介護ロボットを2種、ICTを2種でも可

※既にICTの補助上限額まで補助を受けていても可

### ② 見守り機器の導入に伴う通信環境整備

・Wi-Fi環境整備 ・インカムの導入

・介護ロボット機器から得られる情報をシステムに連動させるための整備

※見守り機器と同時に導入する場合と、既に見守り機器を導入している場合のみ補助対象

## 補助上限額

1,000万円／事業所

## **(3) 介護テクノロジーのパッケージ型導入**

### **「パッケージ型導入」枠で申請すべき/すべきでない場合**

例：見守り機器、介護ソフト、タブレット端末、Wi-Fi整備の導入

- 補助対象経費の4分の3が1,000万円以内の場合

「(3) パッケージ型導入」枠の

①介護テクノロジーのパッケージ型による導入

で見守り機器、介護ソフト、タブレット端末

②見守り機器の導入に伴う通信環境整備 でWi-Fi整備 を申請

- 補助対象経費の4分の3が1,000万円を超える場合

「(1) 介護ロボット等の導入」枠の

①介護ロボット で見守り機器 (→30万円/台が補助額)

「(3) パッケージ型導入」枠の

①介護テクノロジーのパッケージ型による導入 で介護ソフト、タブレット端末

②見守り機器の導入に伴う通信環境整備 でWi-Fi整備 を申請

(→①②の4分の3と1,000万円を比較して、少ない方が補助額)

## 補助要件

### 令和5年度との違い

要件が4つ追加 来年度以降も

- 申請時に「業務改善計画」（指定様式）を作成し、補助を受けた翌年度から3年間、効果を報告すること
- 収支の改善が図られた場合には、職員の賃金へも適切に還元することとし、その旨を職員等に周知すること（効果報告で確認）
- 介護生産性向上に関する研修等を受けること（厚労省HPで公開されている動画の視聴でも可）
- 科学的介護情報システム（LIFE）による情報収集に協力すること

## スケジュール

募集開始 令和6年8月中旬

**申請締切 令和6年9月17日（火）必着**

交付決定 令和6年10月上旬

**事業完了 交付決定日から令和7年1月10日まで**

**実績報告締切 令和7年1月10日（金）必着**

補助金振込 令和7年3月

# 告知

## ケアプランデータ連携システムオンラインセミナー

ICTの補助対象経費に加わる「ケアプランデータ連携システム」に関するセミナーを開催します

日時：令和6年8月22日（木）13:30～15:00

形式：オンライン

内容：厚生労働省からの国の施策・システム利用のメリットの説明  
国民健康保険中央会からのシステム概要・機能の説明

申込：近日中に県HPで申込みフォームを公開します

# 告知

## 第7回 医療と介護のロボット展

(一社)東北医療・介護ロボット普及協会との共催で、介護ロボットの展示会を開催します

日時：令和6年8月30日（金）16:00～19:00

令和6年8月31日（土）9:30～17:00

会場：AER 5階・6階（仙台市青葉区中央1-3-1）

医療系15社、介護系25社が出展

県ブースでは補助金申請に関する相談・お問合せをお受けします